

2024
10月号
No.40

女性の元気が未来を築く 金沢商工会議所女性会 ニュースレター



橋本会長の開会宣言



田中県女連会長の開会あいさつ

[事務局]金沢商工会議所 金沢市尾山町9番13号 TEL076(263)1151 joseikai@kanazawa-cci.or.jp

石川県商工会議所女性会連合会 第24回会員大会 2024.9.9

参加者:石川県内の女性会会員160名うち当会42名 於:ANAクラウンプラザホテル金沢 鳳の間

今年度の会員大会は、例年、記念講演を開催しているところ、『能登半島地震に学ぶ』をテーマに、第1部では珠洲・輪島・七尾女性会会員によるパネルディスカッション、第2部では能登地区の参加者を囲んで懇談を行う研修会形式としました。金沢と能登地区の事業所による物産展も開催しました。

復興に寄り添って参りましょう！

交流委員会担当副会長 水上 誠子

今年度の大会は、珠洲の女性会が担当する予定でしたが、能登半島地震による大変な被害にあわれたため、当会が担当することとなりました。

当会での大会の運営は交流委員会が担当となり、馬場委員長、木藤、高田、安田副委員長、新保、南、木下、道越委員が総力を挙げて取り組むこととなりました。

各担当者を決め、物産展への商品提供の取り決め、パネルディスカッションや懇親会の打合せ、食事のメニューと予算、食事前のアトラクション等々がとてもスムーズに決まっていきました。

当日は天気にも恵まれ、能登地区、小松、白山、加賀の会員の方々をお迎えし、来賓の皆様もお揃いになり、大会がスタートしました。



左端:水上副会長

大会後の研修会では能登の皆さんから、地震発生時から現在までの様々な体験をお話いただき「これからは自助、共助、公助の助け合いで時間をかけて復興して行きます、私達を忘れないでください」の言葉を残されました。能登の皆さんの思いやりの心、明るく元気な姿に感動し、涙しました。私たちも能登半島の復興に寄り添って参りましょう！

大会にご参加の会員の皆様、たくさんのご協力に感謝申し上げます。

ダートコーヒー(株) TEL261-1234



パネルディスカッションのコーディネーターとして 理事 高 由紀

「元旦に起きたまさかの大地震」発災から8か月、日々マスコミで報道されおおよその状況は知っているつもりでしたが、今回、パネルディスカッションで被災された方々の体験談や現在の状況をお聞きして、改めて、深く広く果てしなく大きな災害であること、そして復興への長き道のりを再認識する機会でした。

コーディネーターとしては、登壇される方が、安心してお話できる雰囲気づくりを心掛けました。1番始めの珠洲の瀬戸裕喜子さんの明るく元気でユーモアのあるお話で会場がパツと明るくなったと皆様感じたと思います。4人のパネラーの方々それぞれが、大きな困難に遭っても立ち止まることなく、前向きに立ち向かう行動力。地域の方や周囲の方々への思いやりをリアルな体験談とともに聞き出すことができました。

昔から「能登のとと楽」と言われてますが、能登の女性のたおやかな強さや、優しさを改めて認識でき、参加者全員の心がひとつになったこと。女性会の結束力を肌で感じました。

エキスパート・フラップ(株) TEL237-8881